

目標達成計画

作成日: 令和5年3月1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	ホームの職員は、入居者と同じ食事を摂っていないとのことであり、職員が一人でも同じ食事を摂る事で入居者との会話も広がると思われる。また、味・硬さ・食べ易さなど食事についての気づきを食事に反映するため、業者に伝えることも大切と思われた。	現在の食事においては、毎日の栄養バランス・調理法や味付け・色合いも工夫を凝らしてあり、1日3食・365日異なる献立や行事食が提供されています。まずはこれまで以上に入居者が食事とその雰囲気を楽しんでいただくように支援する。	食事の献立一つ一つを提供時に説明し、食事をより楽しみにしてもらい、食事中は表情・咀嚼や飲み込み状況に注意を払い、食後は入居者の意見を聞くことで、食事形態の変更の必要性を検討していく。また引き続き、給食委員会で情報共有し、気づきを反映していく。	1ヶ月
2	43	日中は、基本的にトイレでの排泄支援が望ましいと思われる。	現在、居室のポータブルトイレで排泄支援を行っている方で、共用トイレでの排泄支援が可能な方は日中は共用トイレで支援する。	入居者のプライバシーに配慮しながら日中は共用トイレへ誘導する。	1ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。